

第6学年 学級活動指導案

平成27年1月26日（金）5校時

安田町立安田小学校

第6学年（男子11名女子8名） 計19名

場所 6年教室

授業者 竹村 和男

- 1 題材 「これが大切！我が家の備え」（2）カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
＜学級活動＞

2 題材について

（1）題材観

高知県は、近い将来、高い確率で南海トラフ地震が発生し、大きな被害が及ぼされるであろうと予想されている。本校も、太平洋に流れ込む安田川沿いに開けた平地にあり、海岸線に近いため、地震の揺れの後、大きな津波が襲ってくると予想される地域の一つである。

そこで本校でも、多くの人の命を奪った東日本大震災を契機に、その教訓をいかし「防災教育」のより一層の充実に努めている。本学年でも以下のような防災教育の学年別重点目標にそって、いつ起こるか分からない地震に備え、いろいろな場面で防災教育に取り組みながら、児童の防災意識を高めている。

児童が一日の多くを過ごす場所は、学校そして家庭である。学校における避難行動については、考えたり、訓練したりする機会が多いが、家庭ではそれに取り組む機会は少なく、また家庭による意識差も大きい。

そこで、「クロスロード」を通して災害対応を自らの問題として考え、家庭での防災対策や話し合いの大切さを学んでいるこの機会を生かして、家庭の防災力向上につなげる学習として、本題材に取り組むことにした。

※防災教育の重点目標（高学年）

- ①発生時には、危険を予知しながら、状況に応じて冷静に判断し、自分の命を守るために主体的に行動できるようにする。
- ②発生後には、地域と積極的にかかわり、周囲の人々と協力しながら、献身的な態度で何事にも取り組めるようにする。
- ③自然災害の種類や発生のメカニズムを知り、それに備えた学校及び地域の取り組みを理解し、主体的にかかわることができるようにする。

（2）児童観

本学級の児童は、これまでに理科の学習や防災学習などを通し、近い将来発生すると予想される南海トラフ地震では、「強い揺れが断続的に起こる」「大きな津波が来る」ことを学習している。また避難訓練や危険箇所の認知、クロスロードをツールとした学習などを通して、安全な場

所への避難，特に揺れがおさまったら，何はさておき高台へ逃げることなどが意識され，すばやく避難行動ができるようになってきている。しかし，告知無しの避難訓練や教室以外の場所からの避難行動については，とまどう児童の姿も見られる。また児童の家やよく通る道からの安全な避難の仕方・危険に対する備えについても，学習や訓練が定着しているとは言えない。さらに，事前の防災アンケートからも，家庭での安全な避難の仕方について，話し合う機会を定期的に持っているという家庭は少なく，もしもの時の対応について不安な面が多くある。

そこで，様々な時や場所において家族とともにどのような備えをし，どのような行動をとることが命を守ること，安全を確保することにつながるのかを，さらに学習しておくことが児童にとって必要であると考え。

(3) 指導観

家庭での地震や津波に対する事前の対策や行動の仕方を家族で考えておく事は，命を守る事に直結する。しかし，家庭で取り組める家具の固定や転倒防止などの防災対策がなされていない場合が多い。そこで，本学習では今までの防災学習の成果もいかしながら，部屋の家具の配置例を使って，危険場所の発見や安全な配置の仕方について，具体的なイメージを持って考えさせたい。そして，危険を認識し，事前に回避できる力を養いたい。また，自分がよく使う部屋の家具の配置や現状から必要とする防災対策も考え，その対策を実行しようとする意識を支援したい。児童が自分で考えた我が家の防災対策を家族防災会議で提案・実践することを通して，家庭の防災対策の向上も目指したい。

3 指導のねらい

○地震発生時に，家庭において揺れによる被害を軽減するためにどのような備えができるか考え，実践することができる。

4 学級活動の評価規準（2）「日常の生活や学習への適応及び健康安全」

| 集団活動や生活への 関心・意欲・態度 | 集団の一員としての 思考・判断・実践 | 集団活動や生活についての 知識・理解 |
|---|---|---|
| 自己の生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、自主的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。 | 楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、日常の生活や学習の課題について話し合い自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。 | 楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの大切さや、そのための健全な生活や自主的な学習の仕方などについて理解している。 |

5 事前の指導（活動）

| 時数 | 場 | ○指導（活動）のねらい ・指導（活動）内容 | 目指す児童の姿 （評価方法） |
|-----|----------------|---|--|
| 20分 | 家庭 帰りの会 | ○部屋の安全対策について、課題意識を持つ。 ・よく使う部屋の見取り図を描く。 ・家庭での防災対策や備えについてのアンケートを実施する。 | ・部屋の安全対策について、 関心を持っている。 【関心・意欲・態度】 |

6 本時の指導（活動）

（1）本時のねらい

○地震発生時に、家庭において揺れによる被害を軽減するため、どのような備えができるかについて考えることができる。

（2）展開

| | 活動の内容 | 指導上の留意点○ | 目指す児童の姿◎ （評価方法） |
|----|---|---|--------------------|
| 導入 | 1 クロスロードの学習を振り返り、地震の恐ろしさと被害から、身を守る対策が必要なことを思い出す。 2 本時の課題を知る。 | ○クロスロードの学習、自分たちが行った地震の被害から、身を守る対策について出し合わせる。 ○アンケート結果を紹介し、家庭の備えや防災対策がまだ充分でないことに課題達成をもたせる。 | |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>我が家（よく過ごす部屋）の備えを考えよう ＝危険な場所と、その対策方法について＝</p> </div> | | |
| 展開 | 3 リビング・寝室・キッチンで揺れが起きた時の映像を視聴し、気づいたことを発表する。 「備えちよき①35」 ～地震の揺れ実験～ ※危険要因 落ちてくる物 倒れてくる物 移動してくる物 | ○家具の転倒等により、人は身動きが取れなくなったり、けがをすることで避難することが困難になったりすることを知らせ、事前の備えが大切であることに着目させる。 ・家具の固定をしないと倒れてくる ・家具が倒れてきたら動けなくなる ・家具の置き方を変える ・居場所を考える など | |

| | | |
|---|---|--|
| <p>4 3つの部屋の見取り図を見て、安全な家具の配置について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A たんすが頭上に倒れてくるので危険 ・ B たんすはベッドには倒れてこないが、ドアをふさぎ、避難できない。 ・ C ドアから離れたところにたんすがあるので避難することもできるし、ベッドの上にも倒れてこない向きに配置してある。また、非常持ち出し袋と靴が備えられていて、安全に避難できる。 | <p>○ABCの3つの部屋（寝室）の見取り図を見て、安全な家具の配置について考えさせる。</p> | |
| <p>5 家具の安全対策（家具の固定）について考える</p> <p>「南海地震に備えちよき 今から備えよう P P⑥～⑩」</p> | <p>○各家庭で行われている家具の固定について、情報を交換させる。</p> <p>○「南海地震に備えちよき（高知県 家庭保存版）」から見つける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ L字金具 ・ つっぱり棒 など ・ ストッパー 粘着ゴム固定 | |
| <p>6 自分がよく過ごす部屋の見取り図を見て、危険な場所を見つけてその対策方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家具の配置．固定 ・ 家具等の高いところに置いてある荷物の移動 ・ 非常持ち出し袋の設置 | <p>○部屋の見取り図を出し、どのようにすれば安全になるか考えさせる。</p> <p>○展開2のCの間取りを参考にして、家具の配置を考えさせる。</p> <p>○家具が移動させられない場合は、家具の固定や寝る場所を変えたりすることも考えさせる。</p> <p>○※赤シール・・・危険と思われる場所 青シール・・・安全対策済み</p> <p>を見取り図に貼ることで、視覚的に防災対策の現状が分かるようにする。</p> | |

| | | | |
|----|---|---|--|
| | 7 考えた安全対策を交流し合う | <p>○友だちの安全対策のアイデアを聞き，質問したり感想を述べ合ったりして，実践意欲につなげる。</p> <p>○青シールをたくさん貼っている児童にその理由や背景を発表させ，周囲の啓発をねらう。</p> | |
| 終末 | 8 本時のまとめをする。 学習したことをふり返り，南海トラフ地震に備えて，今自分にできる事を考える。 | <p>○今日の学習を家庭に持ち帰り，話し合う機会を持つことを伝える。</p> <p>○家に帰って実践しようと思う防災対策をワークシートに記入させる。</p> <p>○見取り図の赤シールが青シールに変わるよう実践を促す。</p> | <p>◎地震発生時の危険個所を見つけ，家庭の実態に合わせて，自分や家族の安全のために今自分にできる防災対策について考えることができる。</p> <p>【思考・判断・実践】 (ワークシート)</p> |

(3) 準備物

防災学習「南海地震に備えちょき」・ ワークシート
シール (赤・青) ・ ホワイトボード

(4) 板書計画

我が家はだいじょうぶ？

A

○たんすが倒れてくる

B

○たんすがドアをふさいでしまう

C

○たんすが倒れてこない
○ドアをふさがれない
○くつや避難袋を準備している

あなたの家はどうかな？

赤いシール・・・危険と思われる箇所
青いシール・・・安全対策済み

(自己目標)

7 事後の指導（活動）

| 時数 | 場 | ○指導（活動）のねらい ・指導（活動）内容 | 目指す児童の姿 （評価方法） |
|----|----------------|--|--|
| | 家庭 （家族防災会議） | ○家族で防災について話し合い，安全な家具の固定や配置の工夫などについて考える。 ・「これが大切！我が家の備え」で自己決定した内容を伝え，実践する。 | ○自己決定した内容を家族に伝え，実践している。 【思考・判断・実践】 （ワークシート） ○家庭で実践してきたことを友だちと話し合っている |
| | 帰りの会 | ○家庭で実践したことを報告し合い，防災に対する意識を高める。 ・家庭で実践してきたことを友だちと話し合う | 【関心・意欲・態度】 （グループの話し合いワークシート） |